

甲南Today

2016 Autumn NO. 50

甲友のリレーションで、未来を紡ぐ

甲南Today NO.50

ONLY ONE vol.21
個性をカヘー

「真の教育とは、人格の修養と健康の増進を重んじ、個性を尊重して各人の天賦の才能を引き出すことである」と提唱した、甲南学園創立者 平生鈞三郎。そんな平生の想いを込め、今、甲南学園の光り輝いている学生・生徒をご紹介します。

決戦の大舞台で放った会心の一撃!

人生はゲームより 圧倒的にドラマチックだ。

知的書評合戦「全国大学ビブリオバトル^{※1}」に、ドラクエ^{※2}をモチーフとした自己啓発本を引っ提げて出場。ベスト5の好成績を勝ち取った攻略法と人物像に迫る。

タイトルに目が釘付け。

おすすめ本の魅力をアピールし、観客の共感を競うビブリオバトル。全国の大学から熱心な読書家とプレゼンテーションの腕利きが集うユニークな大会です。

おそろしく同書のテーマであり、山平さん自身も多くの人に知ってほしいと願うこと。それは、リアルな人生で出会うさまざまな試練も、ゲームと置き換えれば乗り越えられるということです。

「ヤバイ。逃げ出したい。そんな出来事に直面した際も、ゲーム内のイベントだと思えば楽しめる。発表のシナリオは、こうした内容を中心に据え、読書習慣のない人でも親しんで読めることなどを交えて作成しました。」

人生の試練もゲームだと楽しむ!



白さで負ける人生を送って、どうする!」の文字が...。理屈抜きで心に響きました。同時に、予選会の審査員は私と同じ大学生なので共感性が高いと考えたのです。

研究者も面白いが、起業家にも興味あり。

得した話し方やゼスチャーを駆使したパフォーマンスで聴衆をひき込み、学生ウケを狙ったネットスラング^{※3}も、会心の一撃“となつて予選会、地区決戦を次々突破。首都決戦へと歩を進めました。

れば、まちがいに「一位」と評され、悔しさと達成感の入り混じる中で終幕を迎えました。山平さんは大舞台で高評価を得たことで、プレゼンテーション力に自信が湧いたと話します。卒業後は研究者のほか、起業も視野に入れているという。「生物学を学びたくてフロンティアサイエンス学部へ進学しました。いろいろな実験ができることに満足していますが、理系一辺倒ではなく、さまざまな業界で活躍するビジネスリーダーの話や、自分とは異なる視点や思考に触れて、将来の選択肢として起業への興味ももつようになりました。」

「ヤバイ。逃げ出したい。そんな出来事に直面した際も、ゲーム内のイベントだと思えば楽しめる。発表のシナリオは、こうした内容を中心に据え、読書習慣のない人でも親しんで読めることなどを交えて作成しました。」

余勢を駆って準決勝を突破し、いよいよ決勝へ。結果は入賞こそ逃したものの堂々のベスト5。審査員からは「インパクト賞がある

屈託のない笑顔で、「実は一度もドラクエで遊んだことがない」と話す山平さん。どのような進路を選ぶとも、ゲームよりドラマチックな人生を歩むのは間違いなさそうです。



※1: パトラーがお気に入りの本を5分間で紹介。聴衆が読みたくなった本に投票して勝者を決める書評会。第6回の同大会首都決戦には、全国の地区予選(約900名が参加)を突破した大学生30名が出場。

※2: 正式名称「ドラゴンクエスト」は、プレイヤーが戦士や魔法使いになって異世界を冒険するテレビゲーム。第一作発売から今年で30周年を迎え、全世界でシリーズ累計6800万本を売り上げている。

※3: インターネットで使用される略語、略語、俗語のこと。

フロンティアサイエンス学部 生命化学科2年次
山平伊織さん
幼いころから乗馬に親しみ、大学では馬術部に所属。大会では先輩をフォローしつつ、自分自身も結果を残したいと話す。スポーツ競技の団体戦は、ビブリオバトルとは趣を異にするが、やはり楽しみながら高みをめざしている。



<特集1>

ふたつのスピリットが共鳴する
地域連携の新しいカタチ

INFINITYの最前線

<特集2>

甲南大学図書館がデジタルアーカイブを公開
日本民族独自の美意識
「いき」とは何かを説いた哲学者。
その思想の軌跡に
光を当てる

活動の輪を広げる同窓生たちⅢ
甲友の絆を訪ねて
平生鈞三郎生誕150周年
記念シンポジウム開催

It's KONAN Style
第一線で活躍する卒業生
美術家
松田麗香氏

なるほど!甲南アカデミア
文学部歴史文化学科教授
中町信孝

2016年9月20日発行 [発行] 甲南学園広報部 〒658-8501 神戸市東灘区岡本8丁目9番1号 TEL.078-431-4341(代) http://www.konan-u.ac.jp



特集1
03

INFINITYの最前線

革新を紡ぎ伝統を誇る、甲南大学と堺市。
ふたつのスピリットが共鳴する地域連携の新しいカタチ。
総合研究所長 国際言語文化センター 胡金定 教授

神戸で広がる連携【神戸市・神戸新聞社との包括連携協定】
最前線報告 国際交流／共通教育



特集2
07

甲南大学図書館がデジタルアーカイブを公開。
日本民族独自の美意識「いき」とは何かを説いた哲学者。
その思想の軌跡に光を当てる。



09

It's KONAN Style 第一線で活躍する卒業生
人生を映しながら変容する連作
「そこにある それもまた」で美術界の注目を集める。
美術家 松田 麗香氏



11

なるほど! 甲南アカデミア
文学部 歴史文化学科 中町 信孝 教授
ポップミュージックが国を覆す!
エジプト革命の底流を探る。



13

高中 Topics 山内新校長インタビュー
今も、卒業時も、社会に出て何年経っても
「この学校で良かった」と胸を張ってほしい。



15

甲南学園創立100周年カウントダウン連載
オール甲南の絆で、雄偉なる跡碑を。
活動の輪を広げる同窓生たちⅢ 甲友の「絆」を訪ねて。
平生鈺三郎生誕150周年
記念シンポジウムを開催しました。



19

平生鈺三郎日記刊行記念シリーズ
平生鈺三郎と大阪自由通商協会



21

甲南学園から“旬”のニュースをお届けします
KONAN TOPICS

23

新任・退任教職員紹介 裏表紙

25

KONAN FORUM

個性をカヘー ONLY ONE
人生はゲームより
圧倒的にドラマチックだ。

表紙の絵

西井 義晃 画
「平生鈺三郎肖像と1号館」
西井 義晃さん
1961年甲南大学経済学部卒業
元自由美術会員



「甲南Today」は、おかげさまで

50号

甲南Today 2000年5月 第1号を発売して以来、みなさまの温かいご支援のもと
50号という大きな節目を迎えることができました。

今後たくさんのお声を励みに、
甲南学園同窓の絆を紡ぐ一冊として
ご愛読に応えられる誌面づくりをします。

「甲南Today」のバックナンバーをご覧ください。
<http://www.konan-u.ac.jp/kouhou/>

同封のアンケートハガキにて「甲南Today」へのご意見・ご感想をお聞かせください。
また、送付先住所の変更についても同封ハガキにて承ります。

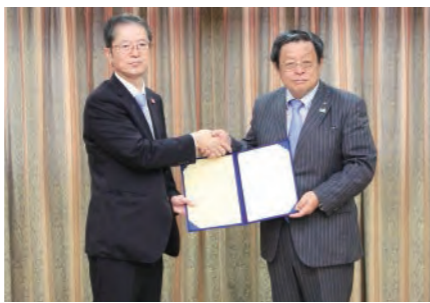
革新を紡ぎ伝統を誇る、甲南大学と堺市。 ふたつのスピリットが共鳴する 地域連携の新しいカタチ。

2016年春、包括的な連携協定を締結し、ともに地域の発展に寄与することになった甲南大学と堺市。歴史文化や伝統産業を誇る政令指定都市・堺市と、その地域において多数の卒業生を輩出してきた甲南大学が互いを理解し合うことで、エリアを越えた新しいつながりが見えてきました。今回はこの連携やプロジェクト始動に尽力された胡金定教授に、それまでの歩みと展望についてお聞きしました。



総合研究所長
国際言語文化センター
胡金定 教授

視野に収めることができると考えました。「海でつながる」という、やや文学的なタイトルを用いたのも、経済はもちろんな文化や伝統、慣習、自然、環境など幅広い観点からアプローチしたいというコンセプトの表れです。



包括連携協定締結式にて握手を交わす
長坂悦敬学長(左)と竹山修身市長(右)。

3本の活動をプロジェクトの柱に、 お互いの魅力に触れる舞台を創る。

大学と地方自治体が連携する場合、何よりもまず「お互いを知るための舞台」を創る必要があります。甲南大学と堺市にも、このプロジェクトを舞台にしてそれぞれの魅力を発信し、理解を深めながらパートナーシップを育む地道なプロセスが不可欠なのです。このような趣旨のもと2015年度は、「公開講演会」「中小企業連携」「学生研究支援」の3つの活動に力を入れました。「公開講演会」では、計4回の講演会・シンポジウムを開催。中でも堺刃物商工業協同組合理事長と刃物メーカーの社長を講師にお招きし開催した講演会「堺の伝統産業 刃物文化と食文化」では、ユネスコ無形文化遺産となった和食を堺の包丁が支えてき

た歴史が語られ、学生たちが夢中に聞き入っていた姿が印象に残っています。また、1年間の集大成となった今年2月24日のシンポジウムでは、知能情報学部の灘本明代教授が「漫才ロボットの研究開発について」をテーマに講演し、甲南大学の独創性と先端性を堺市民のみならずにアピールすることができました。堺市長と長坂学長によるディスカッションも行われ、新首都・関西の構想など地域連携の先に見つめる将来像を示す有意義な機会になったと思います。

堺市長にプレゼンテーション、 学生視点の提案を「政策」に。

「学生研究支援」では、学部・学科を超えて集まった10名の学生たちが「頑張ろうSAKAI」と「Sakai」の2チームに分かれて堺市でフィールドワークを行いました。堺市博物館・堺伝統産業会館などの文化施設や観光地で実地調査やヒアリングを実施するとともに、堺を代表する刃物や和菓子の老舗企業を訪問し、熟練した職人の指導を受けながら和菓子づくりなど伝統の技を体験。その後、一人ひとりが調査報告書をまとめパワーポイントで資料を作成

して、先ほどお話しした2月のシンポジウムで発表したのです。市長や学長をはじめ堺市関係者、堺甲南会会員、一般市民など大勢の聴衆を前にプレゼンテーションする機会など、そう簡単に得られるものではありません。学生たちは最初から最後まで緊張の面持ちでしたが、シンポジウム終了後は「この経験を誇りに思う」「就職活動への自信につながった」「将来の目標が見えてきた」など興奮冷めやらぬ表情で感動と達成感を伝えてくれました。私自身も彼ら一人ひとりの成長を目の当たりにすることができ、地域連携の教育的価値を改めて再確認した次第です。



シンポジウムでは、
堺甲南会の國村良二会長をはじめ、
多くの卒業生らが発表を見守った。

実際に学生たちの提案は、粗削りながらも新しい感性の宝庫でした。それだけに観光誘致や伝統産業のブランド化、若者の心をとらえるマーケティング方法など若者ならではの発想に、関係者のみなさんも大きな期待を寄せています。今年度からは市長による表彰も実施することとなり、学生たちのモチベーションはますます高まると期待しています。

2月のパネルディスカッションにおいて、堺市長は「関西空港を中心とした広域地域連携を視野に入れ、関西を元気にしたい」と、長坂学長は「甲南大学は、関西のネットワークイノベーションを支える一翼を担いたい」と、そのビジョンを熱く語ってくださいました。常に革新を続ける甲南大学と堺市に共通するマインドが凝縮されたメッセージといえるでしょう。私自身も学生たちの成長と大学・地域双方の発展に貢献できるように努力したいと思っています。

新しい挑戦もスタート。 より創造的なパートナーシップへ。

このような成果と春に締結された包

「わかりました。やりましょう」
すべては信頼関係から始まった。

私が所長を務める甲南大学総合研究所は、既成の枠組みにとらわれず学部・学科の壁を乗り越えて共同研究を行い、その成果を広く発信する役割を担っています。長坂悦敬学長が「KONAN プレミアプロジェクトの一環として新しい取り組みを始めてみませんか」と提案されたのも当然研究所のこのような総合的・学際的な面を期待されたからでしょう。また、2014年12月に堺市長・竹山修身氏を講師に招き、「自由・自治都市堺の挑戦」をテーマとした公開講座を開いたことも地域連携を具体的に進める大きなヒントとなりました。実は、竹山堺市長と私の出会いは、今から6年ほど前に遡ります。甲南大学同窓会の一つである堺甲南会の総会に招かれて講演をした際、来賓として出席されていた堺市長とご挨拶を交わしたのがきっかけでした。それ以来、著書を送っていたり、私の授業に講師として来てくださったりと折に触れ、親交を深めてきました。堺甲南会が縁となり、長い時間をかけて信頼関係を育むことができたおかげで、私の提案にも「わかりました。甲南大学との地域連携をやりましょう」と即決してくださったのだと思います。

このようにして2015年4月、地域連携プロジェクト「海でつながる」甲南大学と堺市」は始動しました。神戸と堺は、一見何の接点もないように見えますが、どちらも港湾を中心に発展してきた都市。私は、この二つの都市に共通する「海」をテーマに据えることによって、過去・現在・未来のあらゆる「つながり」を

国際交流力を評価する「KONANグローバル サーフティケイト」



長坂学長から認定証が授与されました。

「KONAN プレミア・プロジェクト」の一環として、大学4年間の成長を可視化する「KONAN サーフティケイト」という評価認定制度が始動しています。本制度は、通常の学業成績やGPAには現れない学生の個性や能力を大学が評価認定する独自の取り組みです。その一つである「KONAN グローバル サーフティケイト」は、国際交流や社会貢献など複数の分野で、レベルに応じて上位1級から3級までを設定しています。

たとえば、国際交流活動に積極的に参加し、異文化や日本文化を理解し、外国語コミュニケーション能力が優れている

認定者から見える 甲南らしい教育の成果。

この度、「KONAN グローバル サーフティケイト」と「KONAN ライブラリ サーフティケイト」において初の認定者が誕生しました。卒業生は平成27年度学位記授与式で、



授与されるピンバッジは、3種類。(1級 ゴールド、2級 シルバー、3級 ブロンズ)

学生などが対象となります。新しい評価認定制度によって、学生は自分の能力に自信をもつことができる。同時に、専門以外のさまざまな学びへのモチベーションが高まります。また、就職活動に際しても、グローバル人材としてどのようなことができるのか、具体的にアピールできるようになり、就職時のミスマッチを防ぐ効果も期待できます。



気軽に外国人留学生と交流できるグローバルゾーン"Porte"(ポルト)。

3年次以下の学生については、認定証授与式でそれぞれ認定証が授けられ、認定級に応じたピンバッジが贈られました。

「KONAN グローバル サーフティケイト」の第一期認定者は全部で8名、1級・2級が3名ずつ、3級が2名になります。学部・学科内訳は、8名のうち5名が文学部英語英米文学科(うち1名が大学院の英語英米文学専攻)ですが、ほか3名は経済・経営・法学部に所属する学生、いわゆる英語を主専攻としない学生です。「学部・学科を問わずすべての学生にグローバル教育を」という独自の考えに基づき、学習環境や留學制度の拡充、新科目の設置などを行った成果が少しずつ実を結んでいます。(本制度は、学校教育法に定められた履修証明制度とは異なる本学独自の評価認定制度です)

学部を横断した「プロジェクト型学習」が開講



和気あいあいの表情がいつしか真剣に。

正解のない問題に 学生が協力して対峙する。

1年次を対象にした「共通基礎演習」は、さまざまな学部の学生が合同クラスで、ディスカッションやグループワークを中心に学ぶものです。初年度は、7学部から約300名の履修があり、15のクラスに分かれ演習がスタートしました。

ゲーム形式のキャンパス内オリエンテーションや、土曜日の1日を使い新設された白川台キャンパス(神戸市須磨区)での自己探求ワークによって、グループでの円滑なコミュニケーションのとり方やチームビルディングなどを経験を通して身につけます。その後、プロジェクト学習が本格化。与えられたテーマ「甲南大学の良さを高める(伝える)ために、私たちの提案」について、グループでブレインストーミングやディスカッションを重ねプレゼンテーションの実施にこぎつめます。正解のない問いと向き合うことで、思考力や課題発見力、分析力など多様な能力が磨かれる一方、高校までで体験してこなかった自主性や主体性が問われる学びに、とまどう学生も多いかと思われましたが、履修アンケートの結果は上々で、双方向・参加型授業へ高い満足度を示す学生が大半でした。

前期授業を終えたばかりですが、新しい試みを総括し、さらに収斂を繰り返すことによって、初年次導入教育の核となる授業の一つに育てていきたいと考えています。

変革の芽吹きは、着実に成果を結び進化を続けています。

包括連携協定を結ぶ 久元喜造 神戸市長(左)と長坂学長。



甲南大学 × 神戸市

神戸市の新たな価値創造をめざし、多分野にわたり連携。

堺市との連携はプレミア・プロジェクトの成果ですが、それだけでは、これまでも個々の事業目的に沿った協定を締結し交流を深めてきました。2016年4月、これまで培った連携を基盤に、地域社会への貢献を推進し、神戸の魅力を生み出すことを目的に、包括連携協定を結びました。

協定は、神戸市が掲げる「神戸2020ビジョン」のテーマである「若者を選ばれるまち+誰もが活躍するまち」の実現に向けて協力し合うもので、地域の課題解決やスポーツ・健康の振興、科学技術・産業の振興をはじめとした7項目にわたります。

甲南大生の力を生かして 神戸の魅力を発信。

今後は協定に基づく活動が進んでいきますが、そのほかには、大学



コンソーシアムを介した神戸市との連携が成果をあげています。神戸の大学が持つ魅力を広く発信するイベント「大学都市KOBELI発信プロジェクト」への参加です。グラウンドで行われた当イベントでは、すっかりおなじみの漫才ロボット(知能情報学部)が登場。「知の世界を楽しく学ぶ」をテーマに、子どもから大人まで、幅広い世代の知的好奇心を刺激し楽しませました。

ほかにも、神戸市をホームタウンとするプロサッカーチーム・ヴェルセル神戸(J1所属)と経済学部とが協力。マーケティング戦略を駆使して、スタジアムへの観客動員増加を企画しています。また、先端医療技術の研究開発拠点として整備が進むポर्टアイランドの「神戸医療産業都市」では、同地にキャンパスを構えるフロンティアサイエンス学部と企業との共同研究が進められようとしています。

連携協定に調印した神戸新聞社 高士薫社長(左)と長坂学長。



甲南大学 × 神戸新聞社

新聞社の発信力と 甲南大学の専門知を融合。

文学部での連携講座の開催をはじめ、これまでも協力関係にあった神戸新聞社とも、2016年6月に協定を締結し、より包括的な連携がスタートしています。

神戸新聞社は、兵庫県を代表する地方紙として「もつといっしょ」を合言葉に、暮らしを豊かにする地域共生プロジェクトを数々と手掛けています。甲南大学も経営学部の西村順二教授が中心となって、但馬地域の道の駅でのプロモーション活動や朝来市の振興活動などにおいて、神戸新聞社と協同してきました。

このたびは地域連携センターが拡充し、包括連携が協定されたことを機に、こういった取り組みをより発展していきたいと考えています。

連携協定への期待が高まる 記念シンポジウム。

去る6月25日には連携協定締結を記念し、「神戸からの発信 多様性を



(左より)パネリストを務めた阪本氏、西村教授、小原氏、高田氏。

生かした地域創生」と題したシンポジウムが、岡本キャンパスで開催されました。基調講演者は、人気のファッショニスト「神戸コレクション」のプロデューサーで知られる高田恵太郎氏(株式会社ぜんまい代表取締役/1974年法学部卒)。高田氏は神戸開港後に洋風文化を取り入れ発信してきたことに触れ、「神戸から新しい生き方を発信し、大好きな街が盛り上がりつつほしい」と語りました。

引き続きパネルディスカッションでは、神戸新聞パートナーセンター長 太田貞夫氏がコーディネーターを務め、同センター地域連携室長 阪本浩之氏、経営学部 西村順二教授、いけばな小原流五世家元 小原宏貴氏(2010年経営学部卒)らが、「伝統と革新が生み出す新たな価値」をテーマに討議。小原氏は「いけばなは華道、新聞は報道で互いに『道』という考えがある。日本文化には人と人をつなげる役割があり、新聞もそうである」と考える。大学との連携が活性化につながるれば」と、連携協定へ期待を寄せました。



デジタルアーカイブ化を待つ蔵書が保管されている図書館内の「九鬼周造文庫」。
※九鬼周造文庫は公開していません。



左・右上/
九鬼周造旧山科邸より甲南大学岡本キャンパスに寄贈された日時計などの遺品。
右下/
スイス、アルプス山麓の町 シルスで採集された貴重な押し花。



「特集2」
甲南大学図書館がデジタルアーカイブを公開。

日本民族独自の美意識「いき」とは
何かを説いた哲学者。
その思想の軌跡に光を当ててみる。

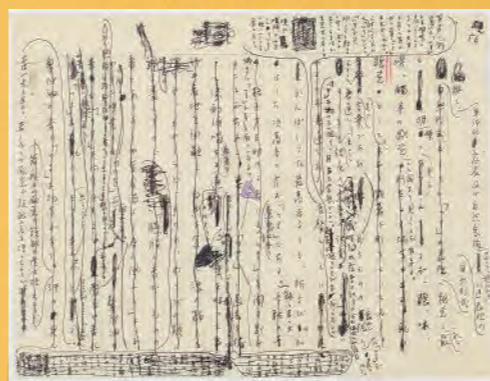
甲南大学図書館は2016年4月より、名著『いき』の構造で知られる哲学者 九鬼周造氏（以降敬称略）の自筆原稿やノートなどの資料約350点を、インターネット上で閲覧できる「甲南大学デジタルアーカイブ」の公開を始めました。リッケルト、ベルグソン、ハイデッガーといった西洋哲学史のそうそうたる顔ぶれに師事した哲学者の貴重な資料とあって、待望していた研究者からはもちろんのこと、新聞などにも取り上げられ、公開と同時にたくさんの方々がデジタルアーカイブにアクセスされています。ではなぜ、九鬼の資料が甲南大学に収蔵されているのか。高名なる哲学者の横顔に触れるとともに、その経緯をご説明しましょう。

九鬼周造と
『いき』の構造。

明治から昭和の時代を生き、西洋哲学を深いコンテクストから理解できる稀有な哲学者と評される九鬼周造。日本思想史の中でも彼の哲学は特異な位置を占め、特に日本の伝統文化を西洋の哲学思想によって洗練させ、独自の哲学を形成したと言われています。九鬼は1921（大正10）年33歳のとき、東京帝国大学大学院を退学し、

8年間にわたる西欧留学の途につき、そこで身をもって西洋文明を深く体験しました。ドイツでは特にハイデッガーに評価されるとともに、ベルグソンにも認められます。パリの哲学界では新進の俊才として認められ、サルトルとも交流がありました。

代表的な著作である『いき』の構造は、「いきな計らい」や「いきな着こなし」など、私たちが普段よく口にする「いき（粋）」、日本民族独自の美意識「いき」という感性を論理的に構



文章が練られる跡が克明に記された『いき』の構造』の自筆原稿。

理を依託された天野貞祐が、たまたま平生釘三郎氏の懇請を受け、昭和19年、京大教授の退職とともに旧制甲南高等学校長を拝命し、ここに理想の学園を夢み、骨を甲南に埋める覚悟をもって赴任することとなり、これを機縁に親友の蔵書を甲南高等学校へ寄託することになった。そして昭和26年、甲南大学の開設とともに蔵書は甲南大学に継承され現在に至っている。また、その蔵書の内容についても「九鬼周造博士は学、東西をかね古今に亘り、その7000有

余の蔵書は本国においてのみならず、多年在留を続けた独仏の地において一々吟味し丹念に蒐集されたものである」と、圧倒的な蔵書数と多様性をたたえています。

九鬼周造の思索の跡が
克明に伝わるアーカイブ。

現在甲南大学が所蔵している資料数は、書籍が約7500点、ノートや原稿等が約550点にのぼり、その数々は図書館内の温度・湿度とも徹底管理された九鬼周造文庫にて厳重に保管されています。研究者の間で

資料の存在は知られていましたが、劣化が進んでいることもあり一般公開はしていませんでした。しかし多方面から「もっと手軽に広く見られるようにしてほしい」との要望が多く、それに応えるべく約10年前からデジタル化する作業を続け、今日のデジタルアーカイブ公開に至ったわけです。

このように高名な哲学者の蔵書が

旧制甲南高等学校
第7代校長
天野貞祐に託された遺品。

九鬼 周造 氏

1888（明治21）年、文部官僚九鬼隆一の四男として生まれる。旧制第一高等学校を経て、1909（明治42）年東京帝国大学文科大学哲学科に入学。1921（大正10）年に東京帝国大学大学院を退学後、足掛け8年におよぶヨーロッパ留学に出發。帰国後、京都帝国大学で教鞭をとり、西洋哲学の普及に努める。1941（昭和16）年、53年の短い生涯を京都で閉じる。



左：九鬼 周造氏 右：天野 貞祐（旧制甲南高等学校第7代校長）

九鬼周造文庫などのデジタルアーカイブをご覧になるには
<http://www.konan-u.ac.jp/lib/> 甲南大学 図書館 検索

人生を映しながら変容する 連作「そこにある それもまた」で 美術界の注目を集める。

画家としての基礎を培った
フランス・トゥレーヌの日々。

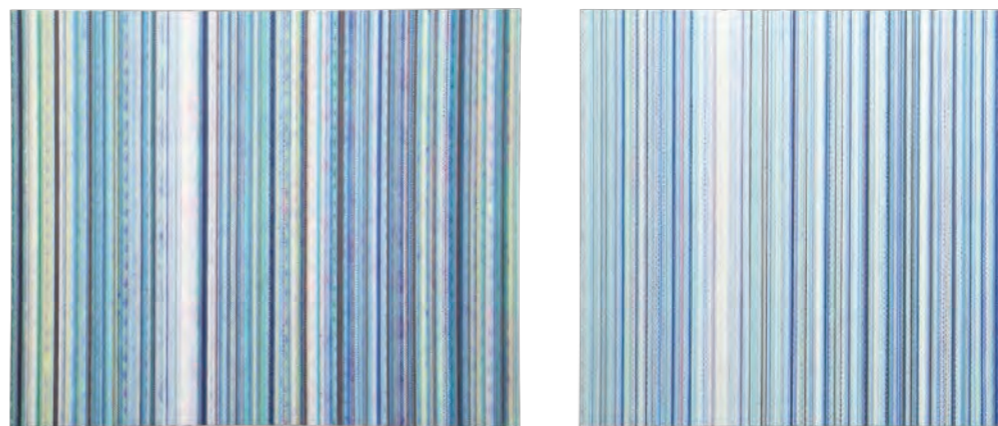
白い壁に囲まれたシンプルなアトリエに入ると、存在感のある作品に目を奪われる。平面でありながら豊かな質感と不思議な奥行きを感じさせる「そこにある それもまた」シリーズ。この作品を生んだ人は、いつこの道に進もうと決めたのだろうか。よく聞かれるのですが、自分でもわからないのです。子どものころから絵画教室には通っていましたが、一度も上手だと感じたことがなくて。『だめだ。思うように描けない』とばかり思っていました。トゥレーヌ甲南学園高等部の存在を知ったのも偶然だった。「書店に並ぶ受験情報誌で知りました。でも教育内容を見たときに自分が求める環境だと直感したのです。母と現地の学校を訪ねてみると在校生の笑顔がキラキラ輝いていて、まずまず魅力を感じました。帰国後、出迎えてくれた父に開口一番『みんなが笑顔だった！』と報告したのを覚

かったし、ましてや師事することなどあり得ませんでした。彼女のアトリエに足を踏み入れた瞬間、『ああ、この人だ』と運命を感じたのです。シャントールは、思索的・哲学的アプローチの大切さを教えてくれただけでなく、日本人である私が日本画の魅力を発見する契機も与えてくれました。この出会いがなければ、画家としてまったく異なる道を歩んでいたと思います。

壁にぶつかって後につかんだ
自分が描くべきもの。

帰国後は、女子美術大学に進学し、日本画を専攻する。現在の画風とかけ離れた意外な選択に思えるが、実はそうではない。一般の鑑賞者にはわかりにくいかもしれないが、その作品は木製パネルに雲肌麻紙(くもはだまし)を水張りして描くという日本画の手法が用いられ、さらに日本画の絵の具によって描かれているのだ。顔料に膠(にかわ)を混ぜ、自分の思いどおりの色を追求することも創造に欠かせないプロセスであり、喜びだと語る。『大学では、日本画の伝統的な技巧を身につけることができ、充実した日々を過ごしました。しかし、ある時期を境にスランプに陥ることになる。『卒業制作を終えたころ、何を描くべきかわからなくなりました。表現すべき理念を探そうと必死に

現代美術の登竜門として知られる「シェル美術賞」は、平面作品の新たな表現を担う気鋭のアーティストに与えられる権威ある賞。昨年、この「シェル美術賞2015 本江邦夫審査員賞」に続き、「FACE2016 損保ジャパン日本興亜美術賞 優秀賞」を受賞したのは、トゥレーヌ甲南学園高等部出身の美術家・松田麗香さんです。絵画との出会いから今日までの歩み、さらに作品創作を支える情熱や哲学についてじっくりとお話を伺いました。

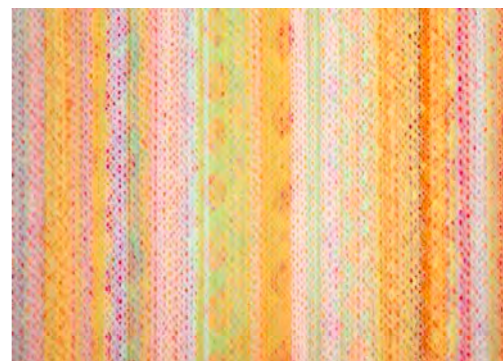


FACE2016損保ジャパン日本興亜美術賞 優秀賞受賞
「そこにある それもまた 84」

シェル美術賞2015 本江邦夫審査員賞受賞
「そこにある それもまた 81」



「そこにある それもまた 27」



「そこにある それもまた 69」



まつだ れいか
美術家 松田 麗香氏
Keika Matsuda

1982年生まれ。トゥレーヌ甲南学園高等部在学中、フランス人女性画家Chantal DELETANGに師事。画家としての姿勢を学ぶとともに日本画にも開眼する。帰国後、女子美術大学・大学院で日本画を専攻。円環構造による大小さまざまな抽象画の連作「そこにある それもまた」を創作し、発表を続ける。昨年、同シリーズの作品により「シェル美術賞2015 本江邦夫審査員賞」、「FACE2016 損保ジャパン日本興亜美術賞 優秀賞」を連続受賞。現代美術を担う才能として期待されている。

作品は木製パネルに「雲肌麻紙」という和紙を水張りし描かれる。0号から150号まで幅広いサイズで制作される。



えています。この一言ですべてを察したのか、父も安心して送り出してくれました。今、改めて思うのは、トゥレーヌの3年間が私の基礎をつくってくれたということ。自分の考えを明確に伝えること、選択や行動に理由を求めることなど。今も決して社交的な性格ではありませんが、そのことを沈黙でなくことばで伝えることができるようになりました。これも多感な時期を恵まれた環境で学び、フランスの人々とコミュニケーションしたおかげです。

当時は懐かしむように語る柔らかな表情に、トゥレーヌでの豊かな時間がしのばれる。中でも印象的なのは、絵画への情熱が教員まで動かしたという驚くべきエピソードだ。「たくさんの思い出があります。が、決して忘れられないのは、先生方が一緒になって美術講師を探してくださいましたこと。この親身なサポートがなければ、女性画家シャントール(Chantal DELETANG)との出会いもな

に陳腐になってしまいうのも事実。だからこそ常に新しいことに挑戦したいと考えています。

国内外での展覧会以外にはほぼ毎日、アトリエで過ごす。趣味は編み物だが、手を動かしながらも絵の構想を練っていることに気づくのだとか。そんな日々には気分転換やストレス解消の必要はないのだろうか。「時々絵を描きながら泣いてしまうことがあるのです。その姿を見たら、きっとおかしいでしょうね。でも、私自身は深い幸福感に満たされて心が浄化されているのを感じます。毎日、絵を描くことができると普通の暮らしができたなら何もいりません。これからも「そこにある それもまた」のシリーズを描いていこうと決めています。生きていく間にどれくらい描けるのか。いつ死んでも悔いがないように絵と向き合い続けたいと思います」。笑顔を交えながら語る口調は軽やかだが、そのまなざしには強い意志の光が宿る。インタビュアの冒頭、「いつ画家になろうと決めたのかわからない」と困ったように答えたのも、生まれたときから画家だったのだと考えれば何の不思議もない。「そこにある それもまた」の連作シリーズは、これからの一人の真摯な画家の人生を映しながら繊細に変容し、深まり続けるだろう。その歩みをずっと見つけてほしい若きアーティストだ。

渦中は苦しかったですね。

トンネルを抜けたのは、2006年、修士課程1年のときだった。大学院で美術史の講義を受けている途中、それまでずっと関心をもって探究してきた哲学や数学などの思索から、一つの概念が導き出せるのではないかと、このときに生まれたのが、現在まで続くシリーズ「そこにある それもまた」である。

たと感じた瞬間でした。

このときに生まれたのが、現在まで続くシリーズ「そこにある それもまた」である。

絵は、画家のすべてを
投影する。
だから姿勢と覚悟を
大切にしたい。

2007年から同シリーズだけを描き続け、その作品は現在91を数える。似て非なる作品は、



Egyptop ポップミュージックが国を覆す! エジプト革命の底流を探る。

2011年2月11日、エジプトでムバーラク大統領が辞任を表明し、独裁体制が崩れました。この「エジプト革命」を引き起こした原動力の一つが、エジプトのポピュラー音楽(エジポップ)です。音楽が国のありようを変える。文化には、日本で暮らす私たちには想像もできないパワーがあります。伊藤忠兵衛基金出版助成を受け『「アラブの春」と音楽』を出版した、文学部歴史文化学科の中町信孝教授に、そのパワーについて伺いました。

エジプト社会の 今を語る音楽。

アラブや中東世界に興味をもったのは、大学に入ったころのことでした。入学した1991年に湾岸戦争が起こり、その年のうちにソビエトが崩壊しています。世界を揺るがす出来事が中近東で起こったことに加えて、もともと歴史に興味をもっていたこともあり、イスラム史、中東の歴史に惹かれたのです。

学生時代に2か月ほど、中東諸国を一人、バックパックを担いで周りました。そして真夏のレバノンでした。首都ベイルートのホテルでつけたテレビで、エジプトを代表する歌手アムル・ディヤーブと出会ったのです。テレビから流れたラテン系でありながら何となくアラブっぽさを感じさせる音楽は、エジプトのポップミュージックであり、私はこれを「エジポップ」と呼んでいます。

日本のポップスとは趣きがかなり異なります。リズムが独特で、音階も耳慣れない旋律を奏でている。しかもアラビア風でありながら、現代のポップス調でもある。そこに得も言われぬ魅力を感じたのです。

その後、2000年からエジプトに留学しました。パレスチナでイスラエルに対する激しい抵抗運動「インティファダ」が繰り広げられていて、パレスチナの人々がたくさん犠牲になっていました。エジプトでも犠牲者を悼む音楽番組がしきりにつくられ、そこで聞いた追悼曲に、エジポップ特有の人を動かす強い力を感じたのです。

インターネットが普及すると、音楽にかかわる環境が大きく変わり始めました。自分でビデオクリップを編集して、YouTube(ユーチューブ)にアップロードするアーティストが、エジプトでも出現したのです。



ひと口にエジポップといっても幅は広く、若手の女性歌手も多く活躍している。

いったのです。

ラッパーだけでなく、ロックミュージシャンやフォークシンガーたちも立ち上がりました。アーティストたちは首都カイロの中心にあるタハリール広場に集まり、テントに暮らしながら音楽を奏で、毎日のようにデモをする。音楽に誘われるように人が集まってくる。

エジプト人は、自分たちの「血の軽さ」を誇りに思っています。「血が軽い」とは、日本語で表すなら「陽気」とか「ひょうきん」くらいのニュアンスです。こうした国民性は、エジポップと実に相性が合います。陽気でのりの良い民族性が、革命にも発揮されたのではないのでしょうか。

革命の原動力の一つがエジポップだったことが、エジプト革命を成功に導いた要因だと思えます。なぜなら音楽は非暴力の象徴だからです。歌を歌ってデモ行進したり、Facebookで呼びかけられた人が集まって座り込みをする。その情景から暴力性は感じられません。だから、人々の共感を集めたのです。デモに参加した若者たちは、非常に礼儀正しく振る舞い、集会後には広場の掃除をするほどでした。ケガをした人には、医師の資格をもつ人が無償で治療していました。共感が共感を呼び、革命は成功します。

ところが、大変残念なことに、革命後の体制は長続きしませんでした。政権をとったムスリム同胞団に対する、旧体制派の巻き返しが起こったのです。



現在のタハリール広場にはデモをする人の姿はなく、エジプト国旗がひるがえっている。

第二革命と 音楽の伝統回帰。

革命後の最初の選挙では、ムスリム同胞団をバックにもつモルシー氏が大統領に選ばれました。エジプト初の

Profile

文学部 歴史文化学科

なかまのあたか
中町 信孝 教授

1972年生まれ、石川県金沢市出身。
東京大学大学院人文社会系研究科修了、文学博士。専門は中世アラブの文化史。日本学術振興会特別研究員、早稲田大学アジア研究機構助手を経て現在に至る。著書に『イスラーム書物の歴史』(共著)などがある。



伊藤忠兵衛基金出版助成を受けました。

中町教授の著書『「アラブの春」と音楽』は、2015(平成27)年度に助成を受け、出版しました。



「伊藤忠兵衛基金出版助成」とは、昭和51年に第3代・第5代理事長伊藤忠兵衛より遺贈を受けた財産で、学術研究の出版を助成することを目的とした基金。現在は「甲南学園教育・研究基金」となり、助成を行っている。

『「アラブの春」と音楽』
若者たちの愛国とプロテスト
DU BOOKS 2,100円(税別)

文民大統領として話題を集めました。が、わずか1年ほどで軍を中心とする旧体制派のクーデターが起こります。これはエジプト第二革命、あるいは「六月三〇日革命」と呼ばれます。

この動きに再び「血が軽い」エジプトの人たちは乗ってしまった。最初の革命に参加できず不満をもっていた人々たちを、旧体制派がうまく巻き込んで第二革命を起こしたのです。今度は一転して、ロックやヒップホップなどのミュージシャンが、反体制派のような扱いを受け始め、インディーズの世界に逆戻りしていきます。代わって人気を集めたのは、愛国的なメッセージソングを歌うアーティストたちでした。世の中は軍が支配する以前の体制に戻ってしまい、エジプトの人たちは、政治的な動きに興味を失ったように思います。

エジプトの若者の動きに、日本の若者を重ねて考えることがあります。安保法制に反対する「SEALDs」の10万人デモでは、ラップで政府批判が繰り広げられるシーンも見受けられました。日本でも歌によるプロテストが行わ



カイロの街中で出会った若者たち。
2016年1月の現地調査にて。

※SEALDs(シールズ: Students Emergency Action for Liberal Democracy-s)は、自由で民主的な日本を守るための、学生による緊急アクション。2015年5月、安倍首相の政権運営や憲法観に対して危機感を感じた学生らが、「特定秘密保護法に反対する学生有志の会」の後続団体という形で発足させた。

れるようになったと感じました。SEALDsは解散してしまいましたが、これから先に日本でも若者の力が、世の中を変えることがあるのでしょうか。仮にそんなことが起こるとすれば、そのとき日本では音楽がどんな役割を果たすのか。大変興味深いテーマです。

けれども、いざやってみれば、何ということもない。ジャスミン革命により、民衆の力の威力を体制側も認識し始めていたのです。ムバーラク大統領が、いつも必ず正しいわけではない。間違ったことをしたときには、そう言っているんだというムーブメントが生まれました。

同じタイミングでFacebook(フェイスブック)上には、政府批判のコミュニティがつくられていました。ここに集う人々も、革命に向かって行動を起こします。こうした民衆の動きがうねりのように大きくなって

革命に火を 点けたエジポップ。

ラーミー・ドンジュアンのラップは、革命でどんな役割を果たしたのでしょうか。人々の意識を覚醒した、というのが私の見解です。それまでエジプトでは、大統領を公然と批判することなど誰も考えもしなかった。そんなことをするのは、とんでもなく危険だと、みんな思っていたのです。

けれども、いざやってみれば、何ということもない。ジャスミン革命により、民衆の力の威力を体制側も認識し始めていたのです。ムバーラク大統領が、いつも必ず正しいわけではない。間違ったことをしたときには、そう言っているんだというムーブメントが生まれました。

同じタイミングでFacebook(フェイスブック)上には、政府批判のコミュニティがつくられていました。ここに集う人々も、革命に向かって行動を起こします。こうした民衆の動きがうねりのように大きくなって



革命の様子を伝えるグラフィティアート。

今も、卒業時も、社会に出て何年経っても「この学校で良かった」と胸を張ってほしい。

2016年4月、甲南高等学校・中学校の校長に就任した山内守明先生。創立者・平生飢三郎による建学の理念を受け継ぎながら、現代社会を生き抜く力を育むための施策を次々と打ち出し、自らが率先して指導にあたっています。「生徒の笑顔が私の活力」と目を細める山内新校長に話を伺いました。



甲南高等学校・中学校 校長 山内 守明 やまうち もりよし

中学1年生の生徒全員と面談。

1919(大正8)年に産声を上げた本学園は、まもなく創立100周年という大きな節目を迎えます。このような折に校長という任を拜することを光栄に思いつつも、責務の重さを感じています。

さて本校の生徒は、中学校からの入学であれば6年間をここで過ごすわけですが、卒業の際にはぜひ「この学校で良かった」と実感してほしいと願っています。大切なお子さん入学させてくださった保護者のみなさんも同様です。

そのためには以下の4点が重要と考え、生徒には常に意識するよう指導しています。それは、幅広い教養を備えた「知的成長」、一生懸命に一つのことに打ち込む尊さを学ぶ「部活動」、人間関係を養う「友

達づくり」、そして豊かに生きるための「心の成長」です。

これらはいわゆる全人教育であり、推し進めていくには、教師が生徒一人ひとりと向き合うことが肝心です。そこで私は就任以来、校長室を開放し、生徒との対話を大切にしています。この1学期間で延べ200名以上の生徒が訪れてくれました。進学についての相談、クラブ活動や学校生活、趣味のことや自作の小説を届けてくれる生徒もいて、生徒が何を考えているのかが良くわかるようになりました。また、**中学1年生の生徒全員との面談**も実施し、満足のできる学校生活を送れるようエールを送っています。

道徳講話の時間には、偉人の生き方を学ぶ授業も行っています。創立者の平生飢三郎先生をはじめ、本校のOB貴志康一や、杉原千畝、ロバート・キャバ、A・カーネ

する「KONANDAY」を開催しました。高校一・二年生全員を対象とし、大学での専門性の高い学びを意識・理解させるとともに、高校で学んでいることと結びつけ、学習意欲の向上につなげました。

自らも生徒の手本として、学校生活を楽しむ。

このように多彩な学びを用意しているのは、学力を伸ばすだけでなく、人間として大きく成長させたいと考えているからです。授業と行事、どちらにも積極的に参加する姿勢と、それによって得られる喜びを、自らの成長に変えてほしいのです。

教師が生きて生きと活動に取り組み姿を見せることも大切であり、その実践として私自身も授業を担当しています。パソコンで教材を自作するのですが、生徒からの「わあ、すごい!」「なるほど、そうか!」という嬉々とした反応を目のあたりにすると、本当にうれしくなります。

これからも自分自身が汗を流すことを惜しまず、また在校生や教師と一緒に学校生活を楽しみながら、生徒が卒業後、何年経っても自分が甲南高等学校・中学校の卒業生であることを誇りに思える学校づくりに取り組んでいく所存です。



校長室を開放して中1生との面談。



多彩な卒業生から刺激を受ける「OBワークショップ」。



論理的思考力を養う「サイエンス・ラボ」。



グローバル人材の資質を磨く「グローバル・ラボ」。



「自学自修」の成果を本格的にプレゼンテーション。



早期から大学での学びを体験する「KONAN DAY」。

ギーなど多彩な顔ぶれです。戦場カメラマン、ロバート・キャバの「戦場カメラマンの一番の願いは、失業することなんだよ」は、生徒の心をとらえた様子。講話後はレポートを提出させ、学びの確認をしています。

一人ひとりに的確な指導と情報提供を。

本校では将来の自分を模索し、目標をもって高校で学ぶために中学3年からのキャリア教育にも力を入れていきます。2006年より総合学習の時間を利用して、自身の興味のある職種を調べるキャリアアサーチを実施しています。年2回、10数名のさまざまな職種の卒業生をゲストに迎え、仕事内容や働きがいなどを学ぶ「**OBワークショップ**」を実施してきました。昨年から、高校一年生で「OB企

業訪問」を試験的に開始しました。ここでは社長との名刺交換に始まり、会社の経営方針を社長から直接伺うとともに、若手社員の働きがい、新商品の開発や営業担当者の苦労話など、実社会を学ぶ取り組みを行っています。2017年には、新コース制の生徒が高校に上がってくるため、中3と高一の連結をスムーズにした、よりシステマティックなキャリア教育を実施することとしています。

また、各界の著名人をゲストに迎える「ソフィア講演会」も、志や人としての生き方を学ぶとともに、大学での学びや進路選択の足掛かりとさせるものとしています。

理想の進路へとつなげるために。

生徒の主體的な学びを促すことで希望の進路を実現させるため

ソフィア講演会 Report

ミスノ株式会社 水野正人会長と心臓外科医 須磨久善先生が講演を行いました。

生徒一人ひとりに「いかに生きるか」という哲学感をもって欲しいとの思いから年2回、社会の各分野で活躍されている方をお呼びし、その生き方・考え方を学ぶソフィア講演会を行っています。講演会の感想文は、講演者へのお礼として届けられています。

2015年6月開催の第1回は、東京2020オリンピック・パラリンピック招致委員会事務総長として大きな身振り手振りを交えたスピーチを行い、招致の立役者の1人となった、高中OBの水野正人会長をお招きし、「信頼を築く」と題してお話いただきました。講演では、天文少年だったこと、米国留学中のエピソードやオリンピック招致に関することなど豊かな表情とゼスチャーで生徒を惹きつけました。

同年10月開催の第2回は、日本で初めて心臓バチスタ手術を成功させ、「神の手をもつ男」と称される高中OBの須磨久善先生をお招きし、「いのち」についてお話いただきました。講演では、中学在学時に医師を志したことや、「人を救いたい」という信念で挫折や世間からのバッシングを乗り越え、バチスタ手術を成功させたエピソードなどが語られました。

生徒の声

- ・一度も間もなくしゃべり続けてらっしゃる水野さんを見て、甲南生に伝えたい!という「情熱」が伝わってきました。(中1)
- ・オリンピックが終わった後に、僕たちが何をして日本の社会を強く発展させていくのかを考えることが大切なのだと感じました。(高一)
- ・医師になりたいと甲南に入学したが、須磨先生のような先輩がいらっしゃって誇りに思いました(中1)
- ・須磨先生のお話を聞いて、失敗を恐れず何事にも挑戦しようという勇気がわきました(高一)



～オール甲南体制で臨む～

学園創立100周年記念事業募金

学園創立100周年記念事業募金申込状況

(2016年7月31日現在)

寄付者種別	件数	申込金額(円)
保護者	135	6,948,000
卒業生	597	101,009,111
教職員・旧教職員	108	35,623,345
一般・篤志家	1	30,000
法人	64	162,650,000
団体	11	203,039,625
合計	916	509,300,081



募金概要

- ▶ 募金目標額 20億円 ▶ 事業規模 100億円 ▶ 募金期間 2015年10月1日～2020年9月30日(5年間)
- ▶ 募資金額 **[個人]** 1口 2万円
できるだけ複数口をお願いいたく存じます。分割払いも可能です。1口または1口未満もありがたくお受けいたします。
[法人・団体] 1口の金額は特に定めておりません

募金方法

[個人]

- ▶ 銀行または郵便局からのお払込
専用の払込用紙に必要事項をご記入の上、金融機関の窓口にてお払込みください。
払込用紙がお手元のない方は、学園振興募金室までお問い合わせください。
- ▶ インターネット募金(個人の方のみ)
クレジットカード・ネットバンキング(pay-easy)・コンビニ支払からお選びいただくことができます。



詳しくはホームページをご覧ください。 http://www.konan-u.ac.jp/100th_anniversary/

[法人・団体]

法人・団体用の申込書と法人用振込用紙をお送りしますので、お手数ですが学園振興募金室までお問い合わせください。

税制上の優遇措置

- ▶ 個人の場合
所得税の寄付金税額控除により
寄付金額の約4割が還付されます。
(税額控除と所得控除のいずれかの制度を選択)
あわせて、神戸市にお住まいの方のみ個人住民税の寄付金税額控除を受けることができます。
- ▶ 法人の場合
「受配者指定寄付金制度」により、
寄付金の全額を損金に算入できます。
税制上の優遇措置についての詳細は、ホームページをご覧ください。
http://www.konan-u.ac.jp/100th_anniversary/tax.html

顕彰について

- ▶ 記念バッジの贈呈
ご寄付いただいた方全員に、「甲南学園100周年記念バッジ」を贈呈いたします。
- ▶ 芳名録の作成
ご寄付いただいた方のご芳名を掲載した「芳名録」を作成いたします。個人につきましてはご芳名と金額を、法人・団体につきましてはご希望のご名義と金額を掲載させていただきます。
- ▶ 銘板の作成
合計額が、個人10万円以上、法人・団体50万円以上のご寄付を賜りました方々は、ご芳名を銘板に刻み、永く顕彰させていただきます。



【お問い合わせ】
甲南学園 学園振興募金室

TEL:078-435-2323(直通) FAX:078-435-2546
E-mail:bokin@adm.konan-u.ac.jp http://www.konan-u.ac.jp/100th_anniversary/



オール甲南の絆で、雄偉なる跡碑を。

『常に備えよ』

「徳を養い、身体を鍛え、智を磨く」平生夙三郎先生の建学の精神で創立された甲南学園が2019年に100周年を迎えます。私たち甲南学園を学び舎とした卒業生、ご父兄、教職員はもとより甲南に何らかの縁を頂いた皆さんが、この大きな節目を共に祝い、また次の100年に向けて想いを寄せ施策をスタートさせる時でもあります。私たち甲南生は、我が母校が胸を張って誇れる学園に益々発展することを願っています。

平生先生は多くの言葉を私たちに与えて頂きましたがその一つに「常に備えよ」があり、私がカブスカウトから始め高校まで続けたスカウト活動のモットーも「そなえよつねに」だったので、この格言が私の人生における基本指針となりました。多くの甲南生(甲南を学び舎とした仲間全て)もこの言葉を実践されている事と存じます。

甲南はこの100周年を迎える今、大きく変わろうとしています。少子高齢化の波は全ての社会活動に影響を及ぼしています。ある統計によると私大の4割が定員割れ、即ち学校経営が困難になりつつあるのです。甲南がそのような困難に陥らないように、学園の在り方を全てに亘って見直し「Konan Infinity」(甲南の無限の可能性)のテーマのもと、創造と改善で大きく進化をします。

東京甲南会会長 水野 正人
ミズノ株式会社社長



私の父、水野健次郎も甲南高等学校を学び舎として過ごしましたが、大阪で生まれたので小学校は大阪淀屋橋にある愛日小学校でした。大阪と真ん中の小学校だったので、大阪商業界の中で多くの愛日仲間と絆を深め人生を過ごしてまいりました。ところが周囲の子供の数が減り、とうとう廃校になる時、父が本当に声の掛けようもないほど失望をしていたのを見て、私は自らの母校を大切にしなければならぬと再認識をしました。

甲南が100周年を機に見違えるような学園に進化する計画が着々と進んでいます。それには財源が必要であり、私たち甲南生は皆でこの母校の発展を支えねばならないと思います。現在進められている学園創立100周年記念事業募金には、甲南生がこぞって協力をしたいと多くの仲間、声掛け合っています。各々が出来る範囲で、しかし全員に何らかの協力をして頂きたいと東京甲南会の会長として機会があることにお願いをし続けています。東京甲南会では学年毎のクラス会を開いて頂き募金の声を掛け合い、体育会運動部、文化部の繋がりが募金を盛り上げるネットワークとして運動を広げています。国内のみならず世界に広がる甲南会が愛校心を醸成し、より多くの浄財が甲南学園の発展に備える「事」に協力を頂きたいと望んでいます。

『甲南大学同窓会会長就任ごあいさつ』

甲南大学同窓生の皆様には日頃何かと同窓会の運営・事業にご支援、ご協力をいただき有難うございます。小林豊前会長の後任として、甲南大学同窓会会長に就任致しました昭和45年法学部卒業の立野です。新しい同窓会役員と共に、力をあわせて甲南大学同窓会を盛り上げて参りますので、よろしくお願ひ申し上げます。

小林前会長は、同窓会組織の簡素化、事務局の効率化等、いろいろな改革に取り組んでこられました。私は、これらを確実に前進させ、より活性化させて参ります。また「明るく、楽しく、元気よく」をモットーに、在校生と同窓生との間に築いてこられた絆をより強く、人近くの人が甲南大学を巣立っておられますが、現在全国各地で開催されており、甲南会、世界各地での甲南会と様々な同窓会関係の事業に卒業生全体の2/3の方々が関心をもっておられない状況です。私は少しでも多くの卒業生にもう一度素晴らしい出会いの機会を作りたいと、このパーセンテージを少しでも上げるように努めて参ります。なかでも11月に開催されます「摂津祭」の期間に行われる「オール甲南の集い」には、ひとりでも多くの方にご参加いただき、出会いの感動を味わっていただければと考えています。また、来年は甲南大学同窓会設立60周年を迎えます。この周年をひとつのきっかけとして、より多くの同窓生の方々に参加の呼びかけをして活性化を考えております。我々は卒業生として平生夙三郎先生の建学の理念でもある「世界に通用する紳士、淑女たれ」のもと、人物重視の教育、社会的常識、高潔な倫理観と品格を備え、社会に貢献できる人材に育ててくれた甲南大学の卒業生である事に誇りを持ち、次世代の甲南大学生、将来甲南大学を目指す人達にも、この輝かしい誇りを繋げていく活動は大きな役割と意味を持つと思います。そして、来る3年後の2019年、甲南学園創立100周年を迎えるにあたり、各地の甲南会に出席して甲南学園卒業生のひとりでも多くの方々に、甲南会へのご協力とご参加をお願いして参りたいと思っております。

最後に、甲南大学卒業生(現役生)は、柔軟性があり、何事にも臆せずチャレンジする気力があるスマートな人達です。無限の可能性を秘めた若者が学ぶ学園に、同窓生として力を尽くして参りたいと思っております。今後とも、甲南大学同窓会へのご協力をよろしくお願ひ申し上げます。

甲南大学同窓会会長 立野 純三
株式会社ユニオン代表取締役社長





ロビーコンサートで来場者を魅了した「貴志康一楽友協会」のオーケストラ演奏。

部、「人間 平生鈞三郎ーパブリック・モラリストとしてー」と題した講演では、刊行中の「平生鈞三郎日記」の編纂に長く携わる法学部 安西敏三教授が、その深い視点から、「奉仕」を重視した平生の人間性について、さまざまな切り口から紹介しました。

休憩時に第二部を待つロビーでは、貴志康一楽友協会によるオーケストラ演奏が来場者を楽しませます。貴志康一楽友協会は、旧



甲南大学元学長 名誉教授 衣笠 茂氏



一般財団法人 日伯経済文化協会(ANBEC)副理事長 栗田 政彦氏



甲南大学名誉教授 藤本 建夫氏



講演者 甲南大学法学部 教授 安西 敏三



元東京海上日動火災保険 平生鈞三郎研究者 高田 博次氏



京都産業大学経営学部 教授 柴 孝夫氏



旧制甲南高等学校同窓会幹事長 大阪大学名誉教授 福井 俊郎氏

活動の輪を広げる同窓生たち Ⅲ 甲友の“絆”を訪ねて。

平生鈞三郎生誕150周年 記念シンポジウムを開催しました。

1866(慶応2)年、この世に生を受けた甲南学園創立者平生鈞三郎。本年2016年に生誕150周年を迎えました。これを記念し6月11日、その偉業にあらためて光を当て、次の世代につなげるべく「平生鈞三郎生誕150周年記念シンポジウムーおもしろく、ありがたくー」を開催しました。甲南学園同窓会共催のもと約450名もの方々がご参加くださり、盛会のうちに終えることができました。その様子を誌面にてご紹介いたします。

平生鈞三郎のもと 旧交を温める同窓生。

当日、会場となった甲友会館には、開場を待たずしてたくさんの方々があふれました。この日のために、各所から卒業生たちが足を運ぶとともに、現役の在学生・在校生の姿も見られ、実に幅広い世代の甲南人が集い、その光景は、まるで間もなく100周年を迎える学園の長い歴史をあらわすようでもありました。

シンポジウムの開演を待つ間のロビーでは、同窓生のみならず、会場のそこかしこで旧交を温めます。数十年来の再会を果たす同窓生、また、在学時の恩師と手を取り合うなど、微笑ましい空気に包まれました。

この日は、シンポジウム開催にあわせてさまざまな展示、催しが行われ、肖像画とともに会場ロビーに飾られた数々の写真パネルの前には、平生の生涯や輝かしい業績を



にぎわうロビー。コーヒーは生協で購入可能。

「今、甦る偉材ー平生鈞三郎ー」と題してパネルディスカッションを開催。第一部の講演者 安西敏三教授を司会に、旧制甲南高等学校同窓会幹事長で大阪大学名誉教授の福井俊郎氏、甲南大学名誉教授の藤本建夫氏、京都産業大学経営学部教授の柴孝夫氏、一般財団法人日伯経済文化協会副理事長の栗田政彦氏、元東京海上日動火災保険で平生研究者の高田博次氏らが登壇しました。

ディスカッションにおいては、福井氏が、平生には非常に高い教育理念があったとし、「その思いは現在も引き継がれている」と話されたほか、柴氏は、平生が川崎造船所(現川崎重工業)の再建に尽力したことに触れ、「痛みを強いる一方で、従業員を愛する経営者であった」と述べました。「平生鈞三郎日記」の編纂に携わる藤本氏は、平生が32年間に亘って克明に書きつづけた日記から浮かび上がる自由主義経済像について触れ、「戦間期の難しい時代を解明するうえで、歴史的に非常に貴重な文書」と話し、大阪自由通商協会の設立に中心的な役割を果たした平生の政治活動について述べ、栗田氏、高田氏も研究者の立場からそれぞれの言葉で平生の偉業を語りました。

そして、旧制甲南高等学校時代に直接教えや言動に触れた元甲南大学学長の衣笠茂氏が、「司会者の要請に応え飛び入りで登壇し、会場が大いに盛り上がりります。衣笠氏は「厚い

偲ぶように、たくさんの方々が足をとめられていました。

さまざまなプログラムで 偉業を振り返る。

座りきれずに通路にまでイスが並べられた熱気の中、ホールは暗転、バイオリンの独奏によりシンポジウムは幕を開けました。奏でるのは、貴志康一楽友協会所属、西宮交響楽団コンサートマスターで甲南大学卒業生の大上容一氏。氏の独奏をBGMに、平生の偉業を振り返るタイトルムービーが流れ、厳かな雰囲気の中にシンポジウムが始まりました。

開会挨拶では、甲南学園 吉沢英成理事長が「平生先生の数々の業績や、日記をはじめとする残された資料から、今もなお私たちに大きな影響を与えてくださっている」と色褪せぬ影響力を称えました。引き続き第一部 人望から、生徒だけではなく教員からも愛される偉大な方でした」と恩師平生との時間を振り返りました。最後に、甲南高等学校中学校長の山内守明より開会挨拶が行われ、シンポジウムは終演を迎えました。

実業家として、社会事業家として、政治家として、そしてなにより、平生が天職とした教育者として、多方面に功績を残した偉業をたどり、その今日的な意義を再発見できた有為なシンポジウムは、甲友の絆を深める役割をも果たし、3年後に迎える学園創立100周年へ向けて明るい兆しになりました。

- 開会挨拶
学校法人甲南学園 理事長 吉沢 英成
- 第一部 講演会「人間 平生鈞三郎ーパブリック・モラリストとしてー」
講演者 甲南大学法学部 教授 安西 敏三
- 第二部 パネルディスカッション「今、甦る偉材ー平生鈞三郎ー」パネリスト
旧制甲南高等学校同窓会幹事長 大阪大学名誉教授 福井 俊郎氏
甲南大学名誉教授 藤本 建夫氏
京都産業大学経営学部 教授 柴 孝夫氏
一般財団法人 日伯経済文化協会(ANBEC)副理事長 栗田 政彦氏
元東京海上日動火災保険 平生鈞三郎研究者 高田 博次氏
- 閉会挨拶
甲南高等学校・中学校長 山内 守明
- ロビーコンサート [貴志康一楽友協会]

平生鈞三郎 生誕150周年 記念シンポジウム

ーおもしろく、ありがたくー

2016年 6月11日(土)実施



中村 研一 画「平生鈞三郎像」
学校法人甲南学園蔵

平生鈞三郎日記
刊行記念シリーズ

平生鈞三郎と 大阪自由 通商協会

甲南大学名誉教授
藤本 建夫
ふじもと たてお

世界に通用する 経済都市 大阪

平生鈞三郎は、国家の保護に頼ることなく世界に雄飛してゆく気概のある企業家、自律心旺盛な実業家に支えられた自由な経済国家、これを理想としていた。国土が狭く、資源に乏しく、それに人口が過剰であるから、平和で自由な国際交易のなかにこそ日本が進むべき道があると考えていたからである。

「頼心」を持っていないことにある。彼等は自分の生活を安全にするためには「財力金力」以外にないことを認識し、その蓄えた富を「家産」として守るには、むしろ丁稚あがりの番頭を婿養子にするのがもつとも確実だと考え、こうして養子制度が発展した。

明治維新後も、東京では政商と結託し、政府の保護によって事業を営む事業家が次々生まれたが、大阪商人は相変わらず「上方贅六」で、東京人のように政府から「甘き汁を吸る機会」はなく、そのことで逆に「今日の如く実力を以て堅実なる基礎」を築き上げるメンタリティーが磨かれた。他力本願の東京人は、戦後不況、関東大震災、昭和恐慌のなかで馬脚を現し、ついに世界大恐慌でパニックに陥っている。



大阪自由通商協会第三回定期総会晩餐会
右手前から3人目が平生鈞三郎で、
立って挨拶をしているのが井上準之助様
※「自由通商」三巻 六号の口絵より

かもしれないが、すでに日本に凌駕されていた綿工業の本場イギリスでは、職工たちはメイド・イン・ジャパンの仕事で働いていた。また最先端の人絹部門でも日本は世界に決して引けを取らない技術水準に達していた。平生の理想はもはや夢物語ではなかった。

その「紡績業界の麒麟児」「花形役者」が呉羽紡績・富山紡績を率いる伊藤忠兵衛(後の甲南学園理事長である、と平生は昭和8(1933)年8月15日の日記に記す。そして国内の経済力では、大阪

だけである。之に反し大阪は大木はなけれど、一木一草といえども自己の根でしっかりと立っている。そのために烈風が吹荒むも、ひよろひよろとするも、決して倒れることはなし(昭和6(1931)年1月14日)。

大富豪アメリカの憂鬱

大阪自由通商協会はこのように東京の政府と財閥と闘わなければならなかったが、何と言っても最大の強敵はアメリカであった。平生はこう考えた。資源に最も恵まれたアメリカは第一次世界大戦で戦争当事国に武器弾薬を供給することで巨万の富を稼ぎ、戦後は債権国として繁栄を謳歌し、世界の金の四割を独占している。それにもかかわらず自国産業を高関税で保護までしている。このため戦争で疲弊したヨーロッパ諸国はアメリカに輸出することので復興を図ることができず、止むなく自国産業の保護によって輸入を制限せざるを得なくなっている。

こうして世界貿易はますます委縮し、昭和4(1929)年10月のウォール街の取引所恐慌が決定打となり、アメリカ自体をも巻き込む世界大不況に発展する。だが、よく考えればこの事態を引き起こした真犯人はアメリカの「唯我独尊的」な金抱え込み政策と保護関税にあった。世界不況から抜け出すには、まず全てを独占するアメリカが事を起こさなけ

が首都東京を上回っていて、輸出入を見ても神戸港が横浜港を圧倒していた(阿部武司「近代大阪経済史」参照)。

大阪自由通商協会の設立

この大阪につかの間の自由貿易運動が盛り上がる。当時三井、三菱など財閥系製鉄業は第一次大戦下のバブル期に創業したものでばかりで規模は小さく生産性も低く、したがって原料鉄としては主に安価なインド鉄鉄の輸入に頼っており、それを一手に引き受けていたのが大阪の岸本吉左衛門商店であった。しかしインド鉄鉄を保護関税で排除しようとする動きが財閥周辺から出始め、これを警戒して同商店は、昭和2(1927)年のジュネーブでの国際経済会議にも出席して自由貿易の重要性を肌で感じていた志立鉄次郎ら、また、大阪商船の村田省蔵副社長とも相談し、その村田から平生に自由通商協会設立の話が持ち込まれる。これにたちまち共鳴した平生は早速行動に移り、昭和3(1928)年1月14日に「大阪自由通商協会」創立総会にこぎつける。

この総会の座長は平生で、彼によると参加者は80名余り、実に盛会であった。この事実は、東京の「為政者と少数の政商又は資本家」の保護主義が我が国の将来を誤るものと有識者の多くが考え、自由通商主義に傾いていることを示すもので、「余は内心愉快に堪えざる」思

れば一歩も進まないと考えた平生と関西財界人は、昭和5(1930)年8月、「大阪自由通商協会常務理事平生鈞三郎」の名で大統領フーバーに、保護関税を軽減・撤廃して自由通商再興を図る運動をアメリカ自らが先頭に立って起こすべきだとの趣旨の要望書を送る。

また平生は昭和7(1932)年6月、ハワイで開催されたロータリークラブ太平洋会議に大阪ロータリークラブ代表として出席し、「世界不況とロータリー精神」と題して講演する。ここでも大富豪アメリカが保護関税政策を改め心機一転、輸入を輸出以上に増やすことを貿易の原則にすることを提言する。

ロンドン

国際経済会議の決裂

残念ながら平生らの声は体よく謝絶され、大統領はもちろん、世論も財界も動かすには至らなかった。世界経済を救済すべく最後の国際経済会議が昭和8(1933)年6〜7月にかけてロンドンで開催される。ここでは関税引き下げと為替の安定が主要なテーマであったが、すでに金輸出を禁止してインフレ政策に軸足を移していたアメリカは、これを効果あらしめるにはドル安の余地を残しておく必要がある、為替の安定化には飽くまで反対であった。このアメリカの頑なな態度のために折角の国際経済会議は決裂してしまふ。

いがした、とこの日の日記に記す。

同日、東京でも志立らが中心となつて「東京自由通商協会」創立大会が開催されたが、全く士気は上がらなかった。平生はその様子を1月18日にこう記す。「東京は政治の都で政府の補助、救済、援助を得ようとする所謂政商の巢窟で、大阪のように自由独立の思想は強くない。殊に日本政府は商工業に対し無数の法律で認可権を振りかざし、「勢商工業者は政府の鼻息を窺うようになつている：現政府が保護貿易主義を採用し関税政策を以て国産品の奨励をなし、自給自足主義を唱導しつつあるが、これでは表立って政府に反対して自由通商の気焔を挙げる勇氣」のあるものは出てこない。



「自由通商」三巻 六号
昭和5年

自主独立の「上方贅六」か 東京の政商・財閥か

東京と大阪との相反する経済体質は実は江戸と上方の文化の違いとも大いに関係している。大阪商人は「上方贅六」と東京人からは蔑視されているが、彼等の強みは「自主独立にして他の援助又は保護に依りて成功せんとする依

平生はこの結末の意味を7月14日こう記す。「各国はでき得る限りプロックを大にして」この決裂に対応しようとしている。ポルトガルもフランスもイギリスのオタワ会議に倣ってプロック化し、アメリカは中南米諸国と新たな通商協定の締結に向かっている。「愈々各国は各々適当なる経済プロックを作りて鎖国的経済に出でんとするもののごとし」。

平生はこうして国際的自由通商が行き詰まってくると、日本も世界列強に伍してゆくには日支満経済プロックを真剣に考えなければならぬと主張するようになる。

『平生鈞三郎日記』 第一巻～第十三巻を刊行中です。



『平生鈞三郎日記』第一巻～第十三巻を刊行しました。12月には、第十四巻を刊行予定です。定価は各巻20,000円(税抜)ですが、甲南学園関係者の方(卒業生、在学生、ご父母、教職員等)は10,000円(税抜)でご購入いただけます。

ご注文・ご購入に関するお問い合わせ
甲南大学生協書籍部
Tel.078-441-7901 Fax.078-441-7915

梅を愛でる3月、甲南×岡本花と文化の花結日を開催しました。

3月6日、梅の名所で知られる岡本へ足を運ばれる地域のみなさまや卒業生にお楽しみいただく催し「甲南×岡本梅と文化の花結日」を甲友会館にて開催しました。当日は岡本商店街振興組合様のご協力による岡本梅林公園ツアーを実施したほか、乙女文人形遣い 吉田光華氏とバイオリニスト 山中裕平氏（甲南高卒）がコラボする乙女音楽や、桂慶治朗氏（2011年文学部卒）による落語でお楽しみいただき、ご来場くださった約100名の方々に、岡本のまちと日本の伝統文化の魅力に触れていただきました。



今回の開催日程 2017年 3月4日(土) 実施内容・時間は確定次第 ホームページでご案内いたします

アイスで梅の街“岡本”をアピール「岡本梅アイス」の製作に甲南大学が協力しました。

かつて、岡本は梅の名所として有名でしたが、昭和の水害や空襲、その後の宅地化でそのほとんどが失われてしまいました。岡本商店街振興組合様は梅の街の再興に向けて、さまざまな取り組みを行って、今回その一環として「岡本梅アイス」を製作されることになり、甲南大学も協力しました。アイスに使用する梅は、灘五郷にある「神戸酒心館」から梅酒製造に使用した梅の実を再利用し、甘さを抑えたシャーベット状に。7月17日に開催したオープンキャンパスで試作品を一個100円(税込)の特別価格で販売しましたが、予定していた400個は3時間で完売するほどの人気ぶり。アンケートを行い、甘さや味の最終調整を加えたのち8月7日のオープンキャンパスにて完成品を販売しました。購入した高校生らは、そのさわやかで新鮮な味に笑みがこぼれていました。



愛称は「コスモスキャンパス」、白川台キャンパスを開設しました。

甲南学園創立100周年記念事業の一環として、2016年4月に、神戸市須磨区の地に白川台キャンパスを開設しました。区の花にちなんだ愛称は「コスモスキャンパス」。広大な敷地には、講義室や宿泊施設を備えるセミナーハウスが設置され、ゼミ合宿や宿泊を伴う学習活動などで活用できます。今後、体育館、グラウンドの改修を行い課外活動のための施設を整備していきます。教育拠点として利用できるほか、新たな地域連携の場としても期待を寄せています。なお、同キャンパスと岡本キャンパス間を約40分で行くスクールバスを運行しています。(要予約)

2人の卒業生が馬術競技に登場しました。

この夏、史上最多のメダルラッシュで日本中が歓喜に沸いたリオデジャネイロオリンピックに、前回のロンドンに引き続き武田麗子氏(2007年文学部卒)が、馬術競技(障害飛越)に出場しました。日本勢でただ一人順調に勝ち進んだ武田氏は、8月18日、準決勝出場をかけた3次予選において惜しくも敗退しましたが、前回よりも着実に戦績をあげました。また、このオリンピック馬術競技にもう一人、卒業生の姿がありました。審判員を務めた平山一哉氏(1980年経済学部卒)です。今回、国際馬術連盟の要請により、日本人ではただ一人の審判員として参加されました。

『べっぴんさん』は卒業生が社長を務める会社が舞台です。

神戸発のべっぴん子ども服のトップブランド「ファミリア」。10月から、創業者の一人、故坂野惇子氏の人生をモデルにした『べっぴんさん』の放送が開始されます。現在、社長を務めるのは、お孫さんにあたる岡崎忠彦氏(1993年経済学部卒)です。戦後の混乱の中、同社を創業した4人の女性のストーリーをぜひご覧ください。

卒業生 松井朔子氏が瑞宝双光章を受章。

1955年文理学部(現文学部)卒業生、シドニー大学名誉准教授松井朔子氏が、平成28年春の叙勲において、瑞宝双光章(すいほうそうこうしょう)を受章されました。瑞宝双光章は公共的な職務での功績をたたえるものです。戦後の日本人では初めてといわれるほど、早くからオーストラリアに渡って日本語教育に尽力された松井氏は、これまでも、世界で「日本」の発信に貢献した日本人として、国際社会での顕著な活動を評価されています。



受章報告で吉沢英成理事長を訪問する松井朔子氏。

輪島塗ボールペン『雅風』7か国首脳の手元に。

輪島塗創作師 西川雅夫氏(1971年経営学部卒)が代表取締役会長を務めるセキセイ(株)が発売する輪島塗ボールペン『雅風』が、伊勢志摩サミット2016で採用されました。輪島塗は600年の伝統をもつ漆工芸品で、丈夫さが特長。木製に漆を塗り蒔絵を施した『雅風』は、西川氏が考案した構図をもとに制作されたものです。西川氏は、「この度のサミットで、7か国の首脳に『雅風』を胸に挿していただくことで、共通の想いを示すシンボルとなれば望外の喜びである」と語っています。



『雅風』を手にする西川氏(雅号:東山雅風)。

神戸医療産業都市 京コンピュータ 一般公開にフロンティアサイエンス学部が参画!

先端医療を支える ナノとバイオの世界を体験しよう!
● 実験体験講座
● 研究展示
● 対戦DNAカードゲーム
● 遺伝子暗号の謎を解け! ほか
開催予定日 2016年 11月5日(土) 10:00~16:00
会場 甲南大学 ポートアイランドキャンパス
http://www.konan-first.jp/

今後の催しのお知らせ

甲南大学 第52回摂津祭を開催します
模擬店やミス・ボーイズコンテストなどで盛り上がる3日間。なつかしのキャンパスに、ぜひお越しください。19日(土)は「オール甲南の集い」と併催。
開催予定日 2016年 11月18日(金)~11月20日(日)
会場 甲南大学 岡本キャンパス
http://www.konan-u.ac.jp

長い間ありがとうございました

退任教職員紹介

(平成28年7月31日現在 ※一部、平成28年度含む)

平成 27年度

退任教職員紹介 (平成27年度) 波田野 修二郎 専任職員 [経済・法・経営学部合同事務室] 田中正弘 教諭 [高等学校・中学校] AURACHER Jan 講師 [国際言語文化センター] 中丸 寛信 教授 [経営学部] 杉村 陽 教授 [理工学部 物理学科]

退任教職員紹介 (平成27年度) 井塚 栄司 専任職員 [財務部] 木村 武子 専任職員 [文学部事務室] 藤井 一光 特任教授 [教職教育センター] 河野 昭三 教授 [会計専門職専攻] 田中 修 教授 [理工学部 生物学科]

退任教職員紹介 (平成27年度) 中村 由美子 専任職員 [共通教育センター事務室] 増田 祐子 専任職員 [西宮キャンパス事務室] 友久 茂子 特任教授 [学生相談室] 中西 優夫 教授 [会計専門職専攻] 宮澤 敏文 教授 [理工学部 機能分子化学科]

退任教職員紹介 (平成27年度) 九野坂 仁 専任職員 [総務部人事課] 島崎 学明 専任職員 [図書館・サイバーライブラリ事務室] 松田 博志 校長 [高等学校・中学校] 前田 修志 准教授 [会計専門職専攻] 高野 清弘 教授 [法学部]

退任教職員紹介 (平成27年度) 中根 和子 専任職員 [経済・法・経営学部合同事務室] 田中 和成 教諭 [高等学校・中学校] 才臨 直樹 教授 [知能情報学部] 中田 善啓 教授 [経営学部]

このほか、【教員】 REISDORF Gordon P. 特別英語プログラムコーディネーター (マネジメント創造学部) 林 満男 教授 (経営学部) GREENSPUN Matthew J. 外国人英語担当契約教員 (高等学校・中学校) 【職員】 廣瀬 雄次郎 専任職員 (財務部) 山下 陽子 嘱託職員 (教務部) 中庭 亜紀 嘱託職員 (教育学習支援センター事務室) 中野 恭子 嘱託職員 (理工学部・知能情報学部事務室) 八谷 明香 嘱託職員 (ポートアイランドキャンパス事務室) 丸岡 裕子 嘱託職員 (図書館・サイバーライブラリ事務室) 足立 知子 嘱託職員 (財務部) 谷口 佳奈江 嘱託職員 (学生部)

森 賢次 嘱託職員 (教育学習支援センター事務室) 井上 恵梨子 嘱託職員 (理工学部・知能情報学部事務室) 三浦 由香 嘱託職員 (西宮キャンパス事務室) 大西 瑠実 嘱託職員 (スポーツ・健康科学教育研究センター事務室) 梶本 みゆき 嘱託職員 (理工学部・知能情報学部事務室) 栗原 淳子 嘱託職員 (総務部総務課) も退職いたしました。

よろしくをお願いいたします!

新任教職員紹介

(平成28年7月1日現在 ※一部、平成27年度含む)

平成 28年度

新任教職員紹介 (平成28年度) ポートアイランドキャンパス事務室 兼子 絵理 嘱託職員 [資格・特技]2級キャリア・コンサルティング技術士・産業カウンセラー 学生部医務室 矢野 詔子 嘱託職員 [資格・特技]鼻笛、ハーモニカ、神社巡り 財務部 山本 雅規 専任職員 [資格・特技]スノーボード、映画鑑賞

新任教職員紹介 (平成28年度) ネットワークキャンパス東京事務所 高橋 伸一 嘱託職員 [資格・特技]読書、焼酎めぐり 経済・法・経営学部合同事務室 今井 将平 専任職員 [資格・特技]楽器(トランペット) 高等学校・中学校 長谷川 裕一 教諭 [担当科目]理科(生物)

新任教職員紹介 (平成28年度) 理工学部・知能情報学部事務室 藤本 栄子 嘱託職員 [資格・特技]水泳 学生部 吉川 知里 嘱託職員 [資格・特技]スポーツ観戦 教務部 井本 勇真 専任職員 [資格・特技]楽器演奏、野球観戦 高等学校・中学校 松山 寛 任期付常勤講師 [担当科目]理科(地学)

新任教職員紹介 (平成28年度) 理工学部・知能情報学部事務室 福永 道子 嘱託職員 [資格・特技]ピアノ 教育学習支援センター事務室 横山 和子 嘱託職員 [資格・特技]フワアアレンジメント 入試センター 川村 桃子 専任職員 [資格・特技]旅行、読書 高等学校・中学校 吉井 純 英語担当契約教員 [担当科目]英語

新任教職員紹介 (平成28年度) 理工学部・知能情報学部事務室 黒川 香織 嘱託職員 [資格・特技]楽器演奏 学長室 市川 貴庸 専任職員 [資格・特技]ソフトテニス、映画鑑賞 西宮キャンパス事務室 阪口 亮太 専任職員 [資格・特技]登山 国際言語文化センター 吉田 桂子 准教授 [専門分野]応用言語学、英語教育

新任教職員紹介 (平成28年度) 西宮キャンパス事務室 寺井 はるか 嘱託職員 [資格・特技]バスケットボール キャリアセンター 荻上 遼介 専任職員 [資格・特技]英会話 教務部 溝端 祐介 専任職員 [資格・特技]個人情報保護士・ロードバイク 国際交流センター 平井 一樹 日本語特任講師 [専門分野]日本語教育学

開催のお知らせ

「オール甲南の集い」は11月19日(土)に開催します。

会場 甲南大学 岡本キャンパス

特別講演会 時間 14:00開演 (受付は13:00から 5号館1階511講義室前にて) 場所 5号館1階 511講義室

「開港150年 神戸と甲南のDNA」作家 玉岡かおる氏

2017年、甲南大学同窓会は誕生60周年、神戸は開港150年を迎えます。国際都市として発展する神戸と、そこで多くの同窓生が活躍する「甲南」の展望を、人気作家の玉岡かおる氏に語っていただきます。



1956年三木市生まれ。神戸女学院大学卒。1987年作家デビュー。2009年「お家さん」で織田作之助賞。「負けんとき」「虹、つどうべし」「天平の女帝 孝謙祿徳」など、女性の視点から歴史を描いた作品で人気。近著に「ウエディングドレス」。大阪芸術大学教授、兵庫県教育委員。加古川市在住。

特別講演会のお申し込み・お問い合わせは甲南大学同窓会事務局まで

入場ご希望の方は「卒業年次・学部・名前・住所・電話番号」を明記のうえ、同窓会事務局まで、メール(jimu@e-konan.net)かFAX(078-811-9366)でお申し込みください。11月5日(土)締め切り。先着300名様に入場証をお届けします。お問い合わせはTEL078-842-0357まで。※その他のイベント情報は確定次第ホームページ(同窓会: http://www.e-konan.net、大学: http://www.konan-u.ac.jp)でご案内いたします。

甲南大学の教員と卒業生が執筆した新刊一覽

Grid of book covers with titles and authors, including '心理学', '心の理論', '中国語の読', '和算', 'リクル読本', '親子会社', '教育認知心理学の展望', '公民教育とは何か'.

課外活動 成果報告 (敬称略) みなさんの活躍に心より拍手を送ります。

2015年10月～2016年6月(大学) 2016年1月～6月(高校・中学)

大学

- アメリカンフットボール部 関西学生大会秋季リーグ(12月)
剣道部 第64回関西学生剣道選手権大会(5月)
バスケットボール部 西日本学生バスケットボール選手権大会(6月)
バドミントン部 関西学生春季リーグ(5月)
バレーボール部 秋季リーグ戦(10月)
フェンシング部 関西学生フェンシングリーグ戦(5月)
ソフトボール部 関西学生ソフトボールリーグ戦(12月)
ボクシング部 関西学生ボクシング春季選手権大会(5月)
テニス部 第60回兵庫県高等学校総合体育大会ゴルフ競技兼第25回兵庫県高等学校ゴルフ競技対抗選手権大会(5月)
ゴルフ部 関西高等学校ゴルフマッチプレー選手権大会(1月)
水泳部 兵庫県高校選手権大会(6月)
柔道部 兵庫県高校将棋選手権大会(5月)
将棋部 兵庫県高校将棋選手権大会(5月)

- 第93回関西学生陸上競技対校選手権大会 (男子2部・女子1部)(5月)
第92回静岡国際陸上競技大会(5月)
第100回日本陸上競技選手権大会兼第31回オリンピック競技大会代表選手選考競技会(6月)
2016香港インターナショナル陸上競技大会(6月)
3原泰起(法3)・男子400m7位
日本学生陸上競技個人選手権大会(6月)
水野真莉子(当4)・女子200m5位
永野真莉子(当4)・女子200m5位
2016香港インターナショナル陸上競技大会(6月)
3原泰起(法3)・男子400m7位
日本学生陸上競技個人選手権大会(6月)
水野真莉子(当4)・女子200m5位
永野真莉子(当4)・女子200m5位
2016香港インターナショナル陸上競技大会(6月)
3原泰起(法3)・男子400m7位
永野真莉子(当4)・女子200m5位

- 平成28年度 関西高等学校ゴルフ対抗戦(6月)
藤原大(高3)・ベスト8
第60回兵庫県高等学校総合体育大会ゴルフ競技兼第25回兵庫県高等学校ゴルフ競技対抗選手権大会(5月)
藤原大(高3)・6位
藤原大(高3)・7位
藤原大(高3)・16位
金谷南杜(高3)・24位
岡村光洋(高3)・24位
↓関西大会出場決定!
平成28年度 兵庫県中学校ゴルフ選手権大会(5月)
釣浦都真(中3)・5位
平成28年度 関西中学校ゴルフ対抗戦(6月)
釣浦都真(中3)・上野真人(中1)・寺山立騎(中3)・山形史輝(中3)
兵庫県高校将棋選手権大会(5月)
山道淳也(高2)・A級個人戦優勝 全国総合文化祭広島大会出場!

「甲南Today」をご愛読のみなさま、いつもありがとうございます。こんなコーナーがあったのかと不思議に思われたかもしれませんが、発刊50号を迎えた節目に、約13年ぶりに編集後記を復活させてみました!さて、49号の特集1「INFINITYの序章」では、「国際交流」「共通教育」「地域連携」について紹介しましたが、今回はその具体的な学びや活動内容について、「INFINITYの最前線」として特集記事を組んでいますので、ご一読ください。岡本キャンパスでは、学友会館・学生会館の建て替え工事が着々と進んでいます。建物が取り壊された更地を目のあたりにすると、何とも言えない気持ちになり、見慣れた景色が思い出されます。完成は来年9月中旬を予定していますので、みなさまお楽しみに。

甲南Today 2016 Autumn No. 50

発行日/2016年9月20日 発行/甲南学園広報部 〒658-8501 神戸市東灘区岡本8丁目9番1号 TEL. (078)431-4341(代)

PRESENT オリジナルティッシュケース ポケットティッシュサイズに対応した「KONAN」ロゴ入りティッシュケース。ご希望の方は、同封のアンケートハガキでご応募ください。応募締切:2016年11月21日到着分まで